

高知新聞

第 102 号

昭和44年3月1日

編集発行

南国市広報委員会

事務所

高知県南国市役所内

(電④2111)

印刷 川北印刷株式会社

(電④3151・有線155-11)



網引く手結の岬の
ぼやき待たて

網引く人たち

むかしは年中浜の風物詩としてみられていました地引網漁業も、いまでは、他の漁業におさされてその数も減少し、ハッチ網のない冬の3カ月にむかしのよすがをしのぶことかできます。

協業化したものもある。▼これまでのように地引網にしがみついた生計をたてているものはいない。工場に、建設労務にと、働らぎ口を求めて家計をたてている。▼機械パッチにおされて、年中操業は表看板、一月から三月までの種か三カ月足らずの冬の陣がわが世の春で地引網漁業はどうなるだろうか、風物詩として細々と残こつてゆくだらうか、気がかりなもの一つである。



を引く発動機の音が浜にひびき、十人足らずの人たちがもくもくと働らき、網元の数も先細りに減少して、

きょうも海浜は静かなものだ。むかしはそこからおこる「エンヤ、コリヤ」の掛け声に明けく風に乗ってのどかにひろがってきただけだ。しかし、いまではその声はきかれない。▼「網おくぞう」の引き子集めのどら声もむかしなつかしいものの一つ、いまでは引き子とつて変わった引き網

市のうごき

(1月末現在)

転入	200	転出	164
出生	46	死亡	40
人口	43,022人		
	(男 21,185人)		
	(女 21,839人)		
世帯数	11,962戸		